

出雲で全国弁論大会

外国人が「日本への提言」



第1位のダスティン・ジョン・キッドさん



第3位の李文哲(リ・フミテツ)さん



会場を盛り上げたマダガスカル人のラマナリヴォ・ミハリ・フィデラナンさん(大阪大学工学部学生)



最初の演者の李昊然(リ・コウネン)さん(島根県立大学総合政策学部学生)



第2位の夏輝紅(シャ・ルイホン)さん

10人が日本語で熱弁

選ばれた10人が日本語で熱弁をふるい、小松昭夫氏(小松電機産業株式会社代表取締役)らが審査に当たった。

第一位になったのは、開星中学・高校教諭のダスティン・ジョン・キッドさん(松江市在住・アメリカ人)。「日本の教育現場に提言」と題して発表し、「日本の学校は権限を超えている▽保護者は学校に任せすぎ▽バイト禁止はやめるべき」という3点を軸に、現在の日本の教育における欠点を指摘、「学校が本来の権威を取り戻し、家庭にも教育力が戻ってくることで、日本の将来を担う次世代を強くできる」と提言した。

二位は、「田園、また楽しからずや」と題して発表した江津市国際交流員の中国人、夏輝紅(シャ・ルイホン)さん。第三位は、「自由に誇りを持とう!」の演題で発表した滋賀大学学生の中国人、李文哲(リ・フミテツ)さんだった。



中学生に意見を聞く持田勉実行委員長

第一回「神話博外国人による『日本への提言』全国弁論大会」が二十四日、出雲市大社町の大社文化プレイスうらら館で開かれた。留学生や国際交流員など、日本に在住する中国、韓国、アメリカ、マダガスカル国籍の外国人十人が、それぞれの視点で日本のまちづくりを提言した。



全員で記念撮影

島根を元気にするために、あなたから。

家族みんなで元気に!

観光をもっと盛んに!

愛と気合い!!

元気な挨拶をします!

若者がもっと気合いを入れる!!

剣道を続けて島根を元気に!!

兄弟仲良くする!

出雲そばおやきを有名に!! 島根の食を広めたい!!

元気な長生き!!

好きないっぱいみつける!

地元の食材でおいしいイスタをつくる!

島根産の食べ物いっぱい食べる!

あなたの、その元気があれば、みんなの、その元気が集まれば、島根は、もっともっと元気になる。ひとりひとりが、島根の元気をつくらな。

あなたの元気で島根の元気をつってください。

民間の広告ネットワーク